



多くの人でにぎわうCOMEのメイン会場「市民活動情報ブースエリア」

# コミュニティマーケットin東区

## ～区内の市民活動団体の祭典

コミュニティマーケットin東区(COmmunity Market in East Ward=略称COME)が、2月28日と29日に行われました。区内で活動する市民団体などの活動発表の場として、4回目の開催となったCOMEの様子をご紹介します。

### COMEしてなあに??

今年四回目を迎えたコミュニティマーケットin東区(略称COME)。今では東区の年中行事として、すっかり定着した感があります。

COMEは区内でまちづくり活動をしている市民団体などが団体同士の交流を行ったり、区民に対して活動内容を紹介したりすることを目的としている催しです。

二十六団体、約二百五十人の参加者で始まったCOMEも、年を追うごとに盛んになり、内容も充実しています。今年には全部で三十団体が参加会場となった東区民センターには約八百人が訪れて、大盛況となりました。

### いっしょに活動をやりました

COMEは、市民団体自らが実行委員会を結成して、運営しています。各団体の活動内容は多岐にわたり、発表の方法もさまざまです。展示を行う団体、芸能を発表する団体など、それぞれが工夫を凝らして、日ごろの成果を発表します。

今年発表の形態に合わせて「市民活動情報ブースエリア」「パフォーマンスエリア」「フェアトレード物産エリア」の三つの会場を設けました。

### 展示による情報発信

### 市民活動情報ブースエリア

COMEの中心となるのが、大ホールいっぱい各団体のブース(展示コーナー)が並ぶこのエリア。今年は二十三の団体が出展しました。それぞれのブースでは活動内容を紹介するパンフレットを配布したり、実演して見せたりして、団体同士や区民との交流を楽しみました。

出展団体のひとつ、共同学童保育「飛行船クラブ」では、ブースの前に台を設置して、こま回しの体験コーナーを作りました。この団体は、夫婦で働いている家族や母子・父子家庭の児童に、放課後の生活の場を提供しています。懐かしい遊びを通じて、子ども



市長もこま回しに挑戦しました